



白鷹自慢のトマトをPR しらたかレッド「とまと祭り」

どりいむ農園では6月25日と26日の2日間、しらたかレッド「とまと祭り」が開催されました。

これは「シラタカレッド」の一つである町自慢のトマトを、より多くの方に知ってもらうことを目的に開かれたもの。会場では、数種類のトマトやトマトの加工品が販売されたほか、トマトすくいや重さ当てなどが行われ、多くの人で賑わいました。イベントの開催にあたり、どりいむ農園の大沼雅裕店長は「どの自治体よりも早く、トマトをPRできることをやろうと思った」「白鷹町と言えばトマト」という印象を持っていただけるように、今後も工夫しながら続けていきたい」と話しました。



2年ぶりに復活 の～んびり！いきいき！のどか村まつり

6月26日、深山地区ののどか村を会場に「のどか村まつり」が開催されました。

2年ぶりの開催となった今年は、陶芸や和紙漉きといった恒例の工芸体験に加え、山形大学の学生によるサイエンス教室を実施。科学の不思議な体験に、会場からは「なんで？」「たまげた！」などと声が上がりました。また、今回もお昼時には青竹の流しそうめんが登場。そうめんとともに深山で採れたサクランボが涼しげに流れ、来場者は「冷たくておいしい」と、笑顔で次々にはしを伸ばしました。



土地改良区役職員による推進活動 自発的な活動で地域貢献を

町土地改良区は6月29日、地域に対する奉仕活動を自発的に行い、地域貢献することを目的としたボランティア活動を行いました。

第1回目のこの日は、役員及び職員16人が国道287号周辺と隣接する土地改良区水路周辺でゴミ・空き缶拾いを実施。約1時間の作業でゴミ袋はいっぱいになり、職員は「水路などの見えにくいところに、意外とゴミが多かった」と話しました。このボランティア活動は、土地改良区の推進活動として今後も続けられる予定です。